

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	デイサービスセンターエバーグリーンわかば		公表日 令和8(2026)年 1月 19日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	75%	25%	(高齢者+こども)25名定員に適したスペースを有し、1日あたりのこどもの最大利用人数6名に対し、ゆとりのある空間であること	祝日・長期休みの場合、過ごし方によってスペースを使い分けなければならない
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	集団での活動をこども達自身で考える機会を作り、配置職員数で見守りができるよう工夫している	こどもが一人一人違う活動を希望した場合、個別の対応が困難な時がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%		特性に応じた対応をすると、他の児童から何故優遇されるのか声が上がると、説明が不可欠である
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	回転する椅子に座ると、不用意な動作が生じてしまうため、都度声かけを行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	パニックになった時、静かに一人で過ごしたい時などに使用できる部屋(環境)を用意している	左記の状況になった場合、他の児童への説明や、話をする場を設ける事で理解を深めていく必要がある
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	75%	25%	目標を明確にして、職員が共通認識を持って行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	年1回の評価を実施し、集計結果をフィードバックを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	日々の申し送りや、月1回の勉強会で意見交換を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%		今後必要に応じて検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%	役職の職員を中心に外部研修等を受講、適宜社内研修に繋げながら、資質向上を図っている	勉強会内容と見直し、各委員会と共有することで解消する
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを軸に、個々の特性に合ったサービス提供を行っている	契約時に、「固定化されたプログラム」がない旨を十分に説明し、ご理解いただくようにしている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	保護者様との面談、または支援中にこどもたちから思いを引き出すような会話・雰囲気作りを心がけている	こどもの成長に合わせて、ニーズを把握していくとともに、本人中心支援を軸に、支援方法を検討していく
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	50%	50%		児発管の設置義務はない支援に携わるスタッフ全員が目を通し、共通認識をもって支援を行っている
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	特に注意すべき事項については適宜情報を共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	提供している支援内容・活動を通して、個々のアセスメントを行い、状況を確認している	必要に応じて採用を検討する
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	こどもの強みを生かした支援内容を立てながら、5領域の項目を組み込めるように設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	50%	50%	立案を行う職員が中心となり、案を出し合っている	職員全体で取り組んでいく必要がある
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	75%	25%	長期休みでの外出、天候不良時の室内レクリエーションを充実させている	外出先がパターン化しているため、(春・夏・冬)の長期休み前に候補を出し合いながら、決定していく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	児童一人一人の様子に応じて、提供する支援内容を工夫しながら行っている	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	50%	50%	朝の申し送り時に確認を行っている 長期休みの時は、予め大まかな予定を組み込むことで、役割分担を行っている	職員間の報連相を強化する	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	75%	25%	業務終了時刻がそれぞれ異なっており、記録の確認や、翌営業日の申し送りで情報共有を行う	職員が意識を高めていく事が必要	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	記録を通して、個々の課題点を抽出し、次回利用日に新たな視点を持って支援を行うようにしている	職員間の報連相を強化する	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	75%	25%		多数の職員が意見を出せる環境を整え、その意見をもとに詳細なモニタリング内容を作成する	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	100%	0%	子ども達が取り組みやすい内容から始め、支援員や同世代のこどもの促しをもって、挑戦しやすい雰囲気づくりを行っている	地域交流の機会の提供について、市内の行事を把握し、積極的に参加をしていく	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	子ども達で話し合い、決定していく場面を作る事で、他者の気持ちに気づき、自分の気持ちをコントロールする経験を増やしている	意見が割れる、後になって納得が出来ない等の場面になった時は、もう一度説明を行うことで考えを整理し、自ら気持ちを立て直す経験も積んでいけるように促す	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	自社・他社に関わらず、参画を強化できており、複数の事業所・関係機関が同じ認識を持って支援することができている		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25%	75%	指定基準に沿って、体制を整えている	連携するケースが少ないが、今後事象に直面したときに備え、知識を習得していく	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%	0%	保護者様からの学校迎え時間の連絡を主とし、円滑に行っている(※事業所からの連絡の促しは必要)		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	相談支援専門員、保護者様から必要な情報を得ている	連携するケースが少ないが、今後事象に直面したときに備え、知識を習得していく	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0%	100%		該当ケースなし、今後必要に応じて対応していくため、情報提供できるよう準備を行う(知識の習得を行う)	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	25%	75%		該当ケースがない為、今後必要に応じて対応する(知識の習得を行う)	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	50%	50%	地域の公園を利用する際、同年代のこども達と一緒に遊ぶ機会がある(常時、見守りを行い、必要時は必ず支援に入る)		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		今後、こども部会への参加を行っていく	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	75%	25%	情報共有のツール(連絡ノート、公式LINE、ブログ)を確保し、必要に応じて様子を伝え合っている		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%		必要性を検討の上、取り組んでいく	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	75%	25%	契約時には要点をわかりやすく説明するとともに、適度に区切りながら、不明点があるかどうかを確認するなど工夫している	
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	75%	25%	活動の目的を明確にして提示していくことで、こどもや保護者様の意向を確認している	
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	75%	25%		
		39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	75%	25%		相談しやすい環境を整える
		40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	25%	75%		家族会(仮)の開催について、必要性を検討の上、取り組んでいく
		41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	75%	25%	お問い合わせ等は適宜受け付け、内容に応じて情報収集を行い、適切に対応している	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	ブログを日々更新しており、広く開けた事業所運営に努めており、保護者様にも周知させて頂いている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	丁寧な聞き取り、面談を心がけており、分かりやすい伝達方法を使い分けている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	25%	75%		随時、計画を行う
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	50%	50%		策定済み 訓練を行った日時や、様子をHP・ブログ等で公表していく 各委員会の発足に伴い、実施する
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		策定済み 訓練を行った日時や、様子をHP・ブログ等で公表していく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	75%	25%	契約時に、既往歴・服薬状況を確認し、配慮が必要な内容について、職員間で周知徹底を行っている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者からの申し出があり、また子ども自身がコントロールできるという情報から、事業所側の特別対応は行っていないが、提供する食事・おやつ等には十分に注意を払うようにしている(※アレルギー成分が含まれない食事・おやつを準備)	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	計画書に非常時対応の記載をしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	法定研修として、職員への研修を実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		該当ケースなし